

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376400228
事業所名	グループホーム長篠の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 知的障害者施設との交流や地域行事は再開できていませんが、ワクチン接種2回を終えたことからボランティアの訪問を受け入れています。歌謡ショー「MIYO KO」、踊りのグループ「若柳の会」、オカリナ演奏と3つのボランティアグループには検温・消毒をお願いし、利用者はマスクをして鑑賞しています。馴染みのボランティアグループからは利用者にプレゼントがあり、近所からは蜜柑がケースで届いています。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） コロナ禍となって2年、内5回の運営推進会議を书面開催としています(管理者が2ヶ月分の活動報告をまとめ、メンバーである市役所、地域包括支援センター、区長、民生委員に毎回メンバーに届けています)。案内をだすものの状況をみて替えており、出席者には臨機に呼応してもらえていて助かります。集まる雑談も混じって和気藹々となりあっという間に時間が過ぎます。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 東三河広域連合が保険者となりフェイスTOフェイスとはゆかずメールが主となっていますが、最近はメール配信の確認が中心なことも馴染んできています。コロナ対策についての告知も東三河広域連合から都度メール配信で届いています。満床な為申し込みの手続きのみで入居につながった例はありませんが、地域包括支援センターからは空室照会が都度あります。新城市からは応援金が届き、助けられています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 降りないドライブで花見見物をしたり、五平餅やおはぎ等利用者の好物をなるべく提供するよう努めて「ストレスが溜まらないように」図っています。またADLにもよりますが、掃除やタオル干しの生活リハビリを生きがいとする例もあります。また年2回のお楽しみ外食支援は、回転寿司と牛丼のテイクアウトで代替しています。緊急事態宣言が出てからは硝子越しに顔を合わせる程度のを3回目の接種まで継続することを家族には理解してもらえています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									

【備考欄】

--